

授業科目 社会福祉文化論Ⅱ

【担当教員名】 山手 茂	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

日本における福祉文化活動の現状と課題を明らかにし、福祉文化創造活動におけるソーシャルワーカーの役割を検討する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 日本における福祉文化活動の現状と課題を理解する。
2. 福祉文化創造活動におけるソーシャルワーカーの役割を理解する。
3. 最近の福祉文化創造活動の事例を学ぶ。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO
		番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション-授業計画の説明	講義 (受講者が少なければ、 討論のセッションを設ける。)
2	I. ソーシャルワーカーの福祉文化創造活動	
3	1. ソーシャルワーカーの実践報告と理論化	
4	2. ソーシャルワーカーの役割を理解する。	
5	3. ソーシャルワーカーとソーシャルワーク研究者の共同活動	
6	II. ボランティア活動とボランティア文化創造	
7	1. ボランティアリズム	
8	2. ボランティアの活動報告と理論化	
9	3. 日本文化とボランティア文化	
10	III. 患者・障害者の福祉文化創造活動	
11	1. 患者・障害者の生活記録・文化活動	
12	2. 患者・障害者団体の文化活動	
13	3. 現代文化と患者・障害者の文化創造活動	
14	まとめ	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	岩田正美編『社会福祉の原理と思想』有斐閣、2003年、2,100円			
参考書	授業中に紹介する。			
その他の資料	授業中に配布する。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
1. 毎時間のレポート 2. 学期末のレポート	1. 学習意欲を持って、毎時間出席すること。 2. 積極的に質問・意見を表明すること。

社会福祉学科
専門